



高蔵寺ニュータウンにおける 先導的モビリティを活用したまちづくり

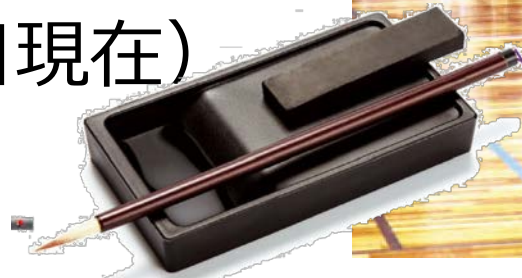
春日井市まちづくり推進部ニュータウン創生課

春日井市について



基本情報

- ・位置 愛知県北西部、名古屋市に隣接
- ・人口 311,784人（平成30年10月1日現在）
- ・面積 92.78 k m²

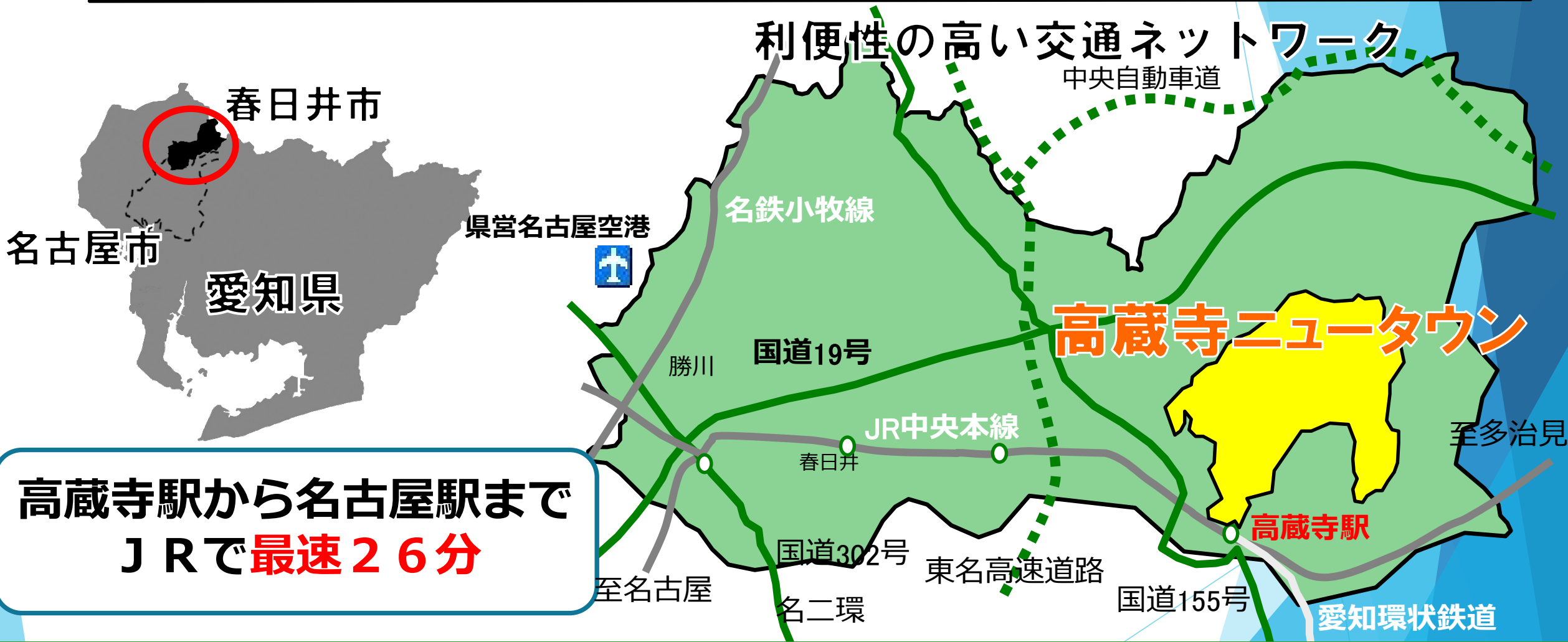


特色

- ・その① 小野道風の生誕伝承地である「書のまち」
- ・その② サボテン苗生産が全国の約80%生産日本一「サボテンのまち」
- ・その③ 全国から剣士が集う「剣道のまち」
- ・その④ 市街化区域中76.8%を土地区画整理事業で整備



高蔵寺ニュータウンの位置



高蔵寺ニュータウン整備の概要

名古屋都市圏の住宅需要の増加等に伴い、
日本住宅公団施行の土地区画整理事業により整備

項目	内容
事業名称	日本住宅公団 春日井都市計画高蔵寺 土地区画整理事業
施行者	日本住宅公団
施行面積	約 7 0 2 . 1 ヘクタール
都市計画決定	昭和 3 8 年 8 月 1 6 日
総事業費	約 4 1 4 億円
事業年度	昭和 4 0 年度～昭和 5 6 年度
減歩率	平均 5 1 . 2 %
計画人口	約 8 1 , 0 0 0 人

高蔵寺ニュータウンの特性

① 日本住宅公団の単独開発
⇒再生の主体としてURに期待

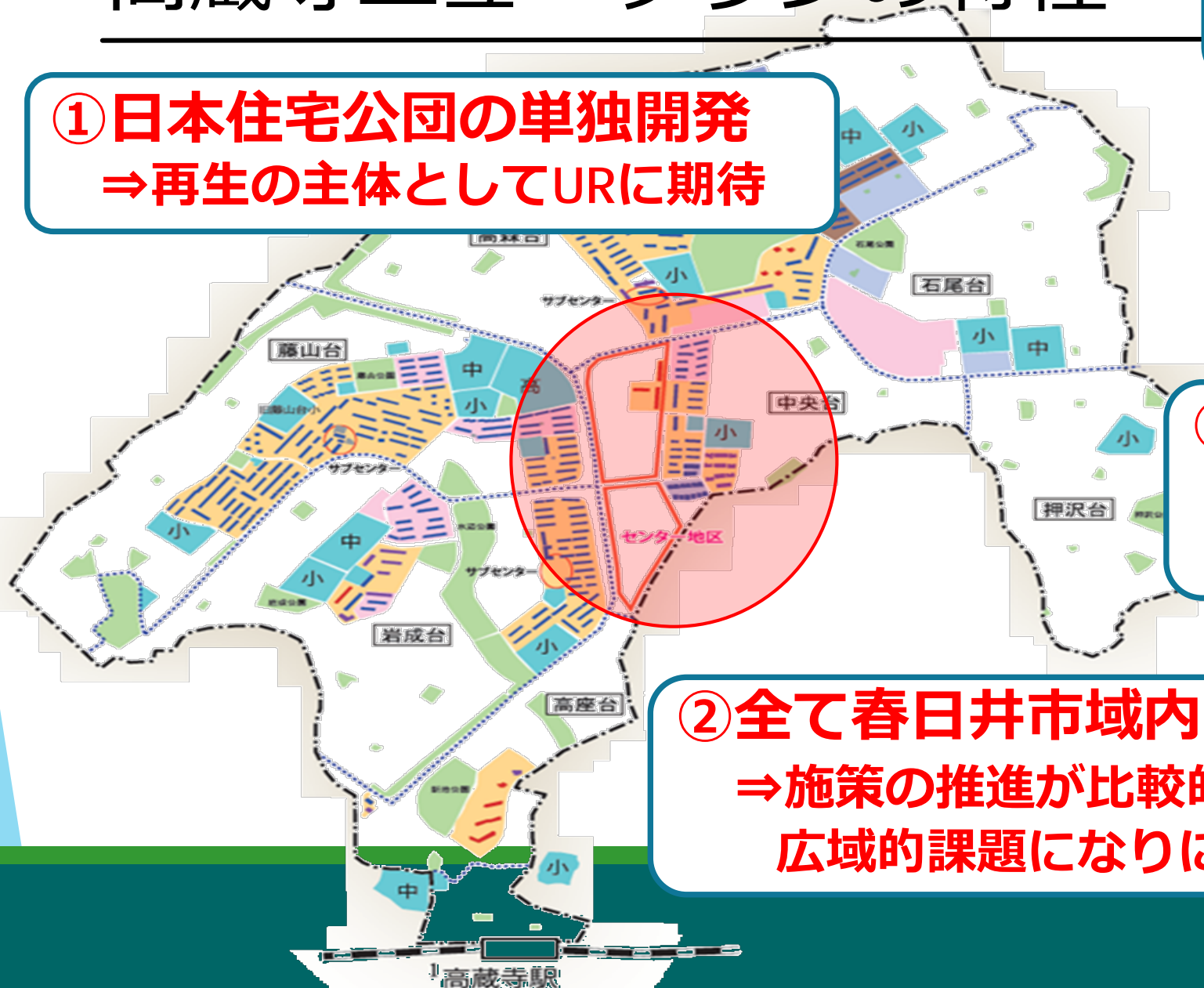
③ ワンセンター方式
⇒商業集積が維持
遠いエリアは買い物不便



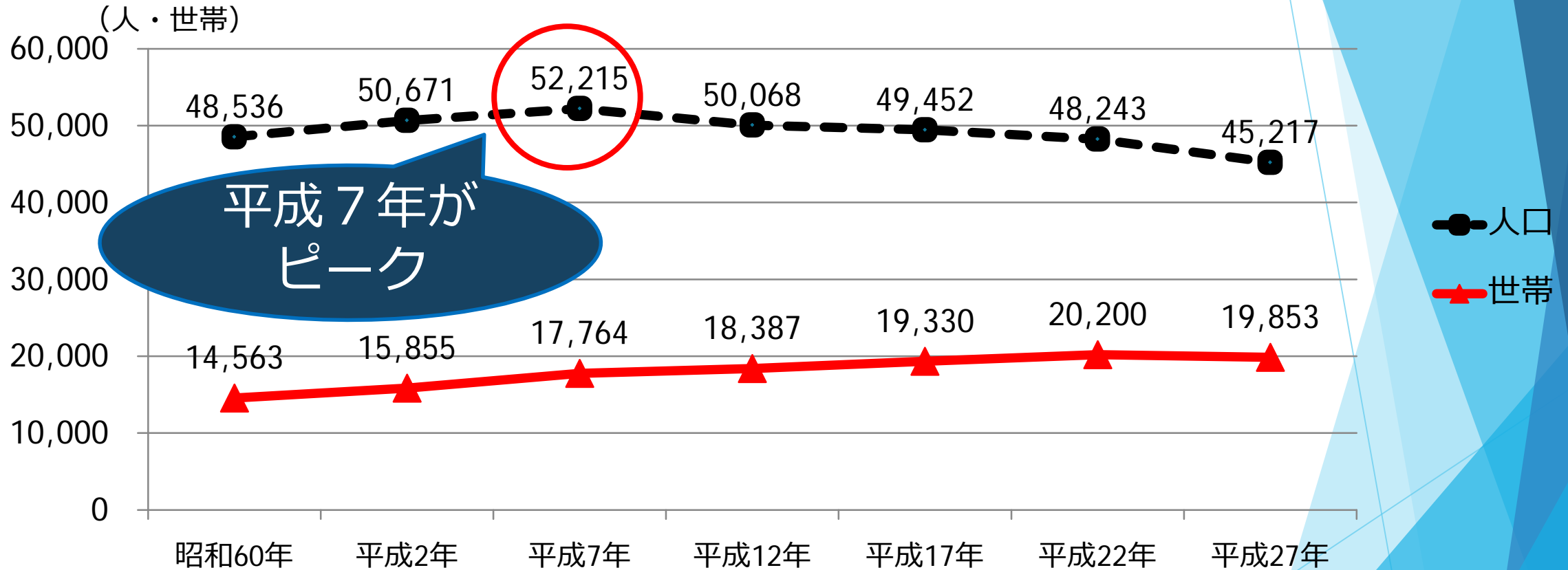
④ 公共交通はバス中心
⇒相当数の運行本数を誇るも
民間開発が進みにくい



② 全て春日井市域内
⇒施策の推進が比較的容易
広域的課題になりにくい



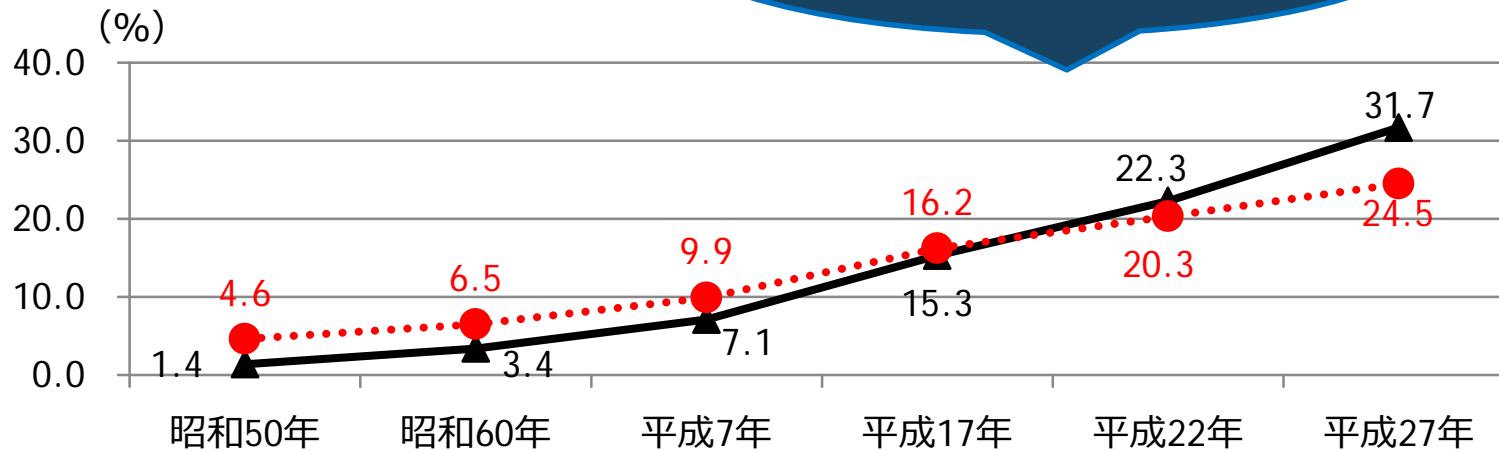
人口・世帯の動向



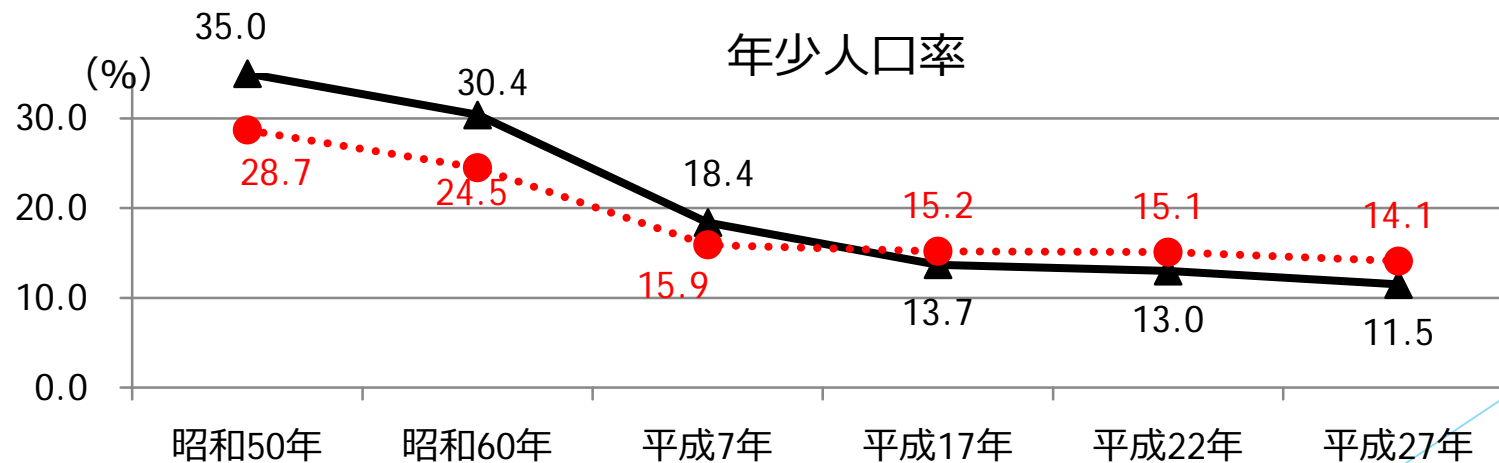
少子高齢化の動向

市内平均より
少子高齢化進行

65歳以上



15歳未満



(出典：国勢調査)

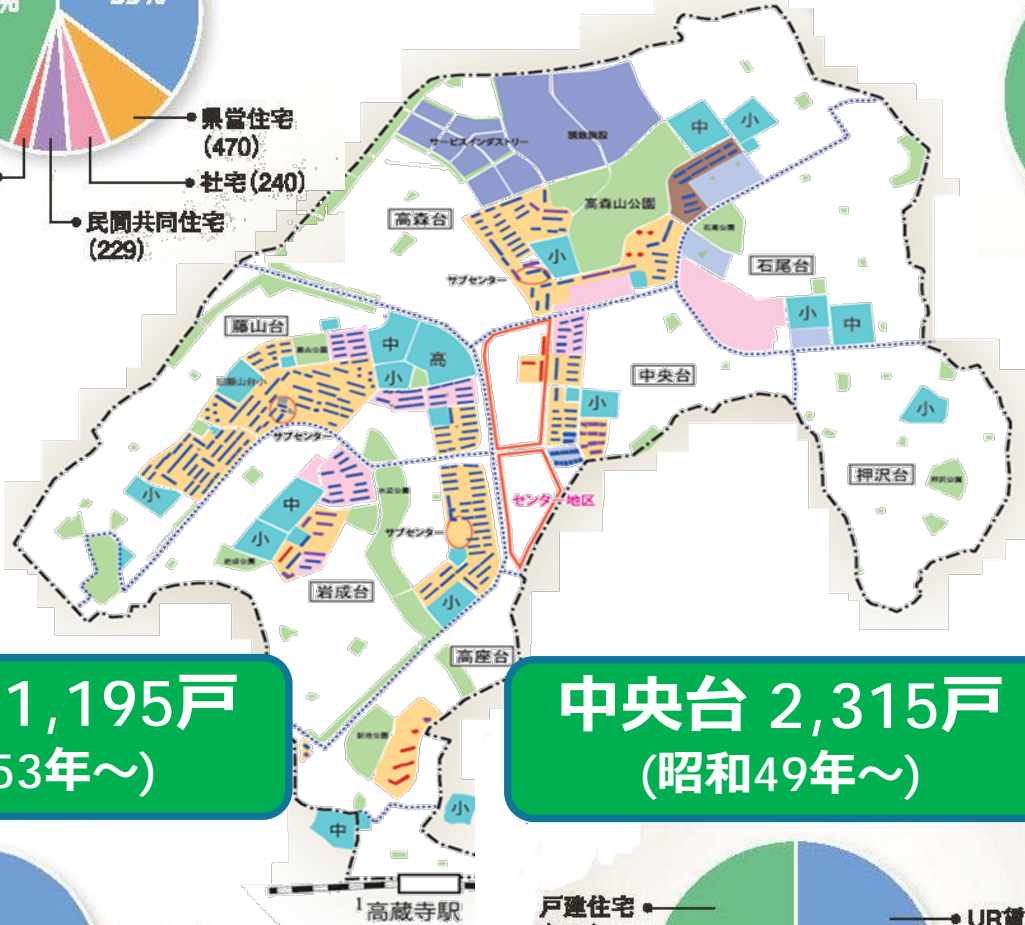
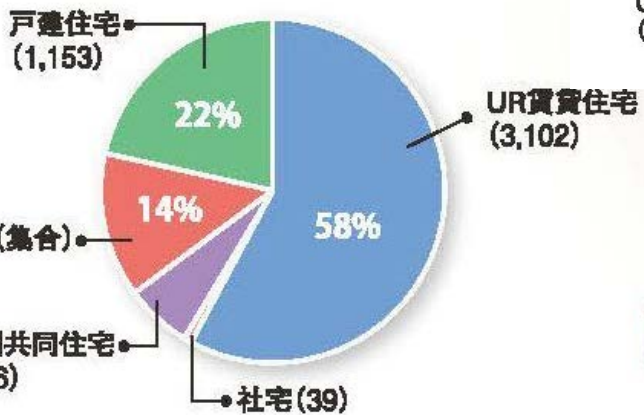
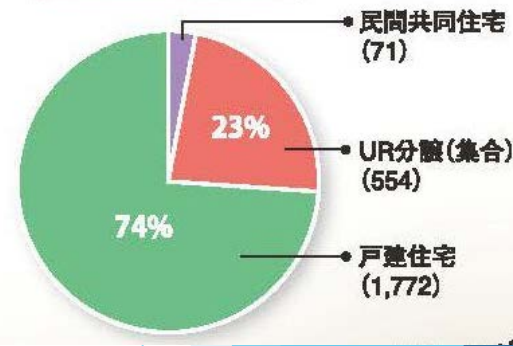
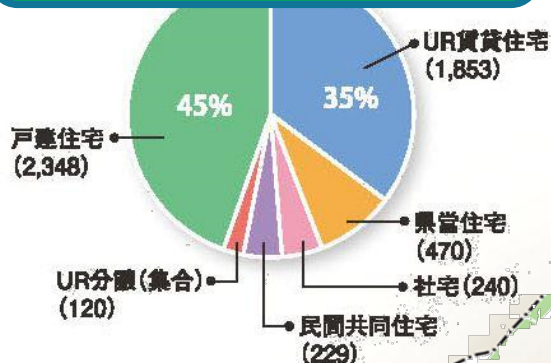
住宅の構成

高森台 5,260戸
(昭和48年～)

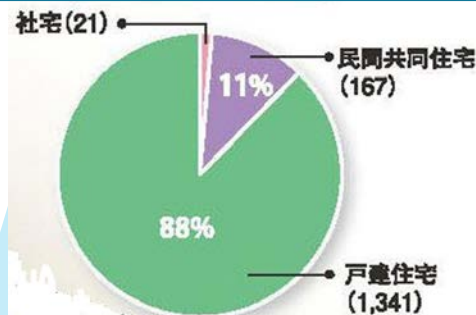
ニュータウン計
21,801戸

石尾台 2,397戸
(昭和53年～)

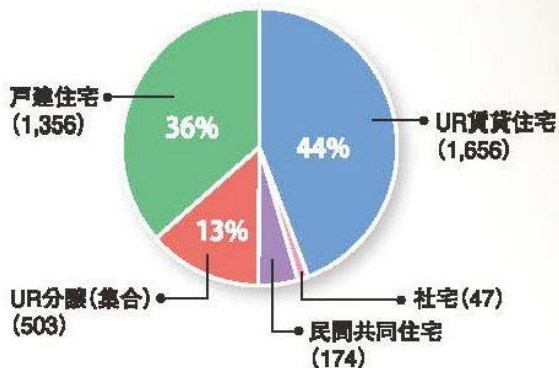
藤山台 5,360戸
(昭和43年～)



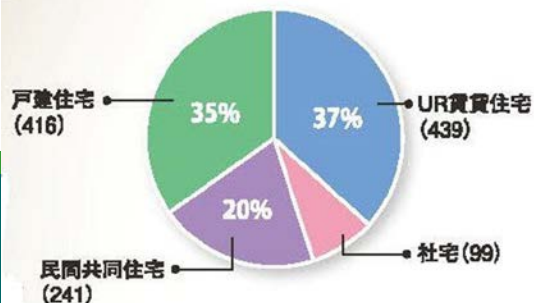
押沢台 1,529戸
(昭和54年～)



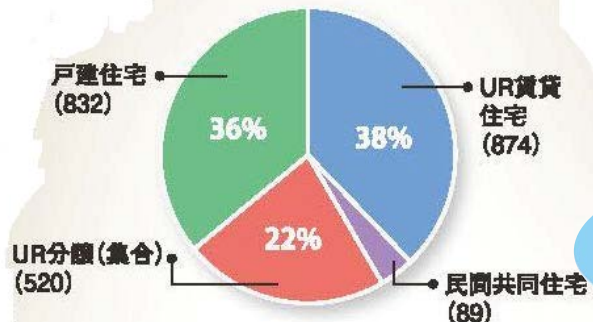
岩成台 3,745戸
(昭和46年～)



高座台 1,195戸
(昭和53年～)



中央台 2,315戸
(昭和49年～)



※上段は住宅戸数、
下段は入居開始年

高蔵寺ニュータウンの交通に関する主な課題

- ◆坂道の移動困難性の克服
- ◆高齢者の外出機会の減少
- ◆バス本数の減少（人口ピーク時の約3/4）
- ◆バス停から自宅等までのラストマイル問題

など

高蔵寺リ・ニュータウン計画における施策

先導的な主要プロジェクト

旧小学校施設を活用した多世代交流拠点の整備

民間活力を導入したJR高蔵寺駅周辺の再整備

交通拠点をつなぐ快適移動ネットワークの構築

センター地区の商業空間の魅力向上と
公共サービスの充実

スマートウェルネスを目指した団地再生の推進

ニュータウン・プロモーション

ニュータウンまるごとミュージアム

課題に応じた主要な施策

住宅・土地の流通促進と
良好な環境の保全・創造

身近な買い物環境の整備と
多様な移動手段の確保

多世代の共生・交流と
子育て・医療・福祉の安心の向上

既存資産（ストック）の有効活用
による多様な活動の促進


高蔵寺ニュータウンを超えた
広域的なまちづくり

- ・産学官連携等により自動運転技術導入を検討
- ・新たなモビリティサービスの導入を検討

展開プロジェクト（快適移動ネットワーク構築）

多様な交通手段の確保を検討

- ・ 愛知県自動走行実証実験に参加
- ・ 産学官連携による自動運転車両、パーソナルモビリティ等の実験を実施予定
- ・ 駅とセンターのバス交通強化

- 
- ・ 先導的モビリティに関する取組
 - ・ センター地区を交通拠点とした各交通機能の連携強化検討

無人車両の自動運転



パーソナルモビリティ



高頻度・基幹的バス



高蔵寺駅

先導的モビリティに関する取組の目的

ニュータウンの有する坂道やラストワンマイル等の課題を克服するため、「自動運転車両」「パーソナルモビリティ」「バス等既存公共交通」などによる適切な交通ネットワークや交通結節点機能の強化についての検討

最適な交通分担・交通ネットワークの形成

高蔵寺ニュータウンの魅力を高めて広く発信

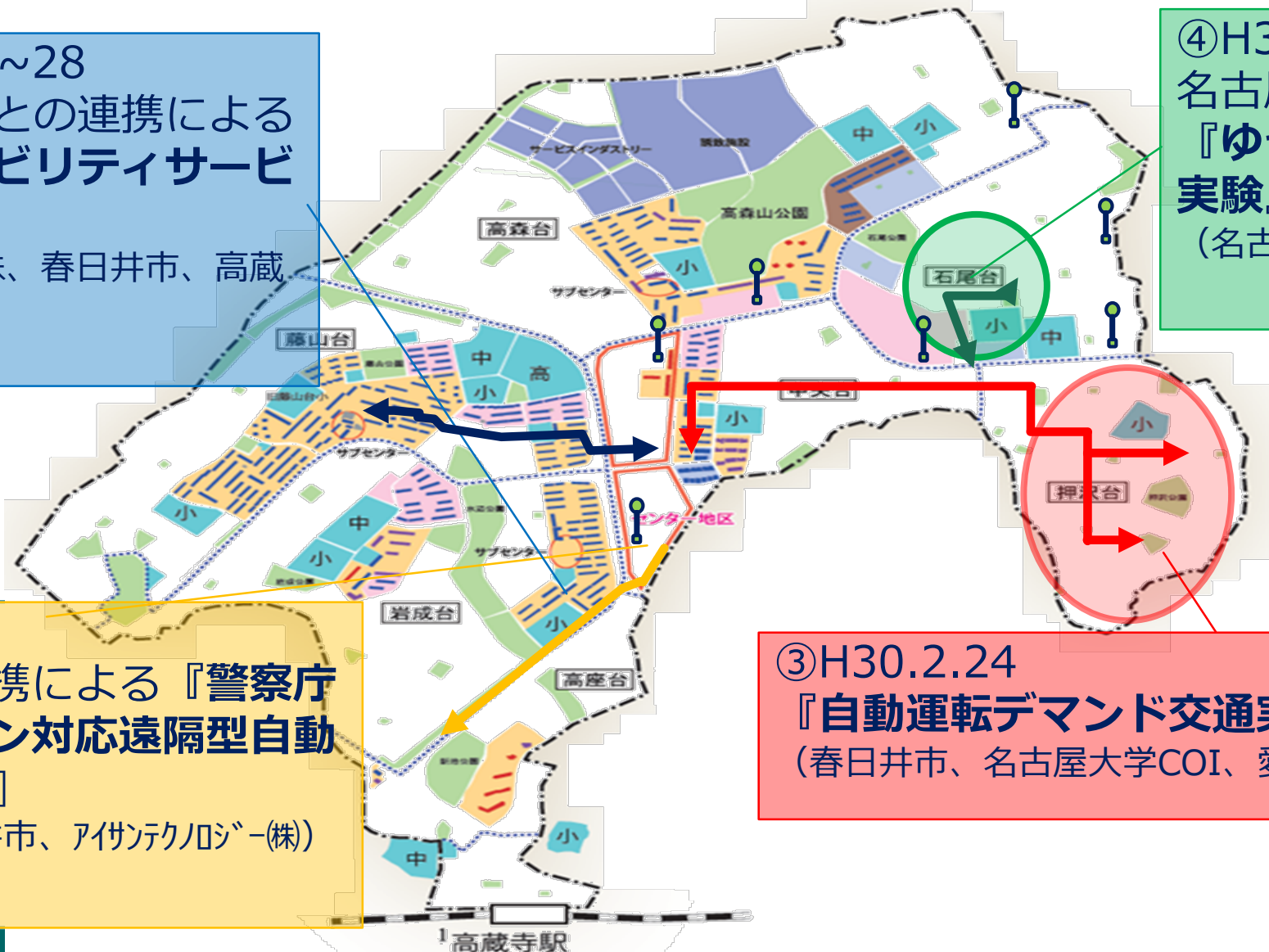
平成29年度先導的モビリティ各プロジェクト実施図

①H29.11.15~28
トヨタ自動車との連携による
『歩行支援モビリティサービス
実証実験』
(トヨタ自動車株、春日井市、高蔵
寺まちづくり(株))

②H30.2.5
愛知県との連携による『警察庁
新ガイドライン対応遠隔型自動
運転実証実験』
(愛知県、春日井市、アイテクノロジー(株))

③H30.2.24
『自動運転デマンド交通実証実験』
(春日井市、名古屋大学COI、愛知県、アイテクノロジー(株))

④H30.3.5
名古屋大学COIによる
『ゆっくり自動運転(R)実証
実験』
(名古屋大学COI、春日井市)



先導的モビリティに関する取組

①歩行支援モビリティサービス実証実験（平成29年11月）

～実証実験の概要～

- ◆日時 平成29年11月15日(水)～28日(火)
9:30～16:00 ※降雨時中止
- ◆場所 センター地区（アピタ館西側テラス）
～UR藤山台管理サービス事務所
- ◆内容 歩行支援モビリティシェアリング
サービスの実証実験。
- ◆運行 片道200円、往復500円[最大2時間]、
無料乗車体験有 ー※



【WHILL】



【COMOVE】

※片道、往復・・・20歳以上、市内在住、在勤、要身分証

※無料乗車体験・・・20歳以上

先導的モビリティに関する取組

① 歩行支援モビリティサービス実証実験 (平成29年11月)

～実証実験ルート図～



先導的モビリティに関する取組

①歩行支援モビリティサービス実証実験 (平成29年11月)

～実証実験の様子～

センター地区
(アピタ館西側テラス)



UR歩道
(歩車分離)



UR藤山台
管理サービス事務所



先導的モビリティに関する取組

①歩行支援モビリティサービス実証実験（平成29年11月）

～実証実験の結果～

◆参加者

- ◇件数 合計407件（有料68件(片道48件、往復20件)、無料339件)
- ◇年齢 60歳代以上が約70%

◆総論

- ・ 普段自家用車等で移動、現在は不便に思わない
- ・ モビリティ自体は『楽しそう』と思えるものがよい
- ・ 『スピード』『利用料金』の満足度がリピートの鍵



自動運転用高精度 3 次元地図の整備

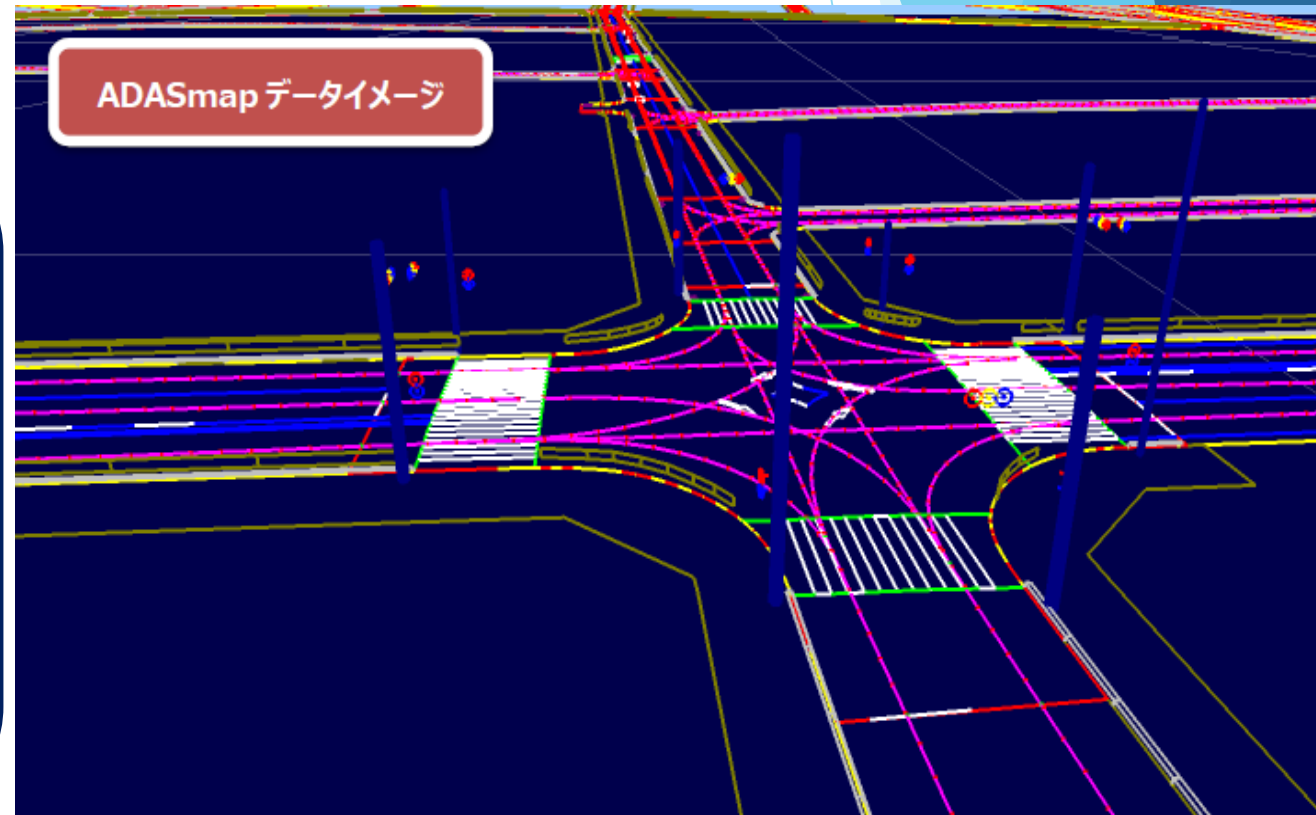
自動運転を含む各種プロジェクトにおける基盤整備

ADASmap整備

- 大学や企業等との共同実験等を行う際の基盤整備



- 高蔵寺ニュータウンのほぼ全ての主要道路に自動運転に必要な高精度 3 次元地図（ADASmap）を整備



先導的モビリティに関する取組

②警察庁新が「ト」ライン遠隔型自動運転実証実験（平成30年2月5日）

～実証実験の概要～

- ◆日時 平成30年2月5日 12:30~15:00
- ◆場所 春日井市保健センター
～新池公園付近
- ◆内容 遠隔型自動運転システムを活用した公道実証実験。
- ◆特色 運転席無人の車両を遠隔操作者が遠隔監視・操作。右折や信号認識による左折は国内初。

レベル4 実証ルート



先導的モビリティに関する取組

②警察庁新が「ト」ライン遠隔型自動運転実証実験 (平成30年2月5日)

～実証実験のルート～

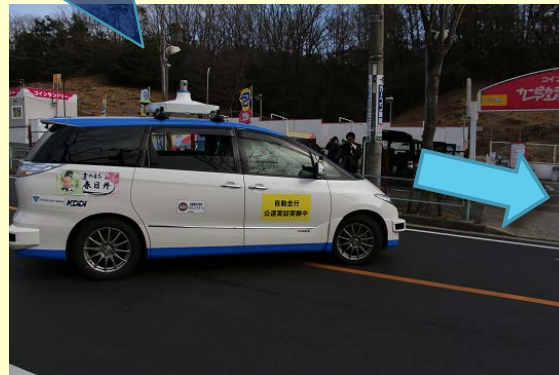
保健センター
(出発地)



施設出庫



右折



信号左折



新池公園付近
(到着地)



遠隔監視



先導的モビリティに関する取組

②警察庁新が「ト」ライン遠隔型自動運転実証実験（平成30年2月5日）

～実証実験の結果～

- ◆公道実証実験（12:30~13:30）
 - ◇愛知県知事、春日井市長試乗、共同記者会見
 - ◇右折、信号認識による左折を県内で初めて披露
- ◆モニター調査（14:00~15:00）
 - ◇保健センター駐車場内で実施
 - ◇一般市民20名が乗車、アンケート
 - ◇「技術の進歩に期待したい」等の声



先導的モビリティに関する取組

③自動運転デマンド交通実証実験 (平成30年2月24日)

～実証実験の概要～

- ◆日時 平成30年2月24日 9:00~16:00
- ◆場所 押沢台地区内個人住宅前
～センター地区（商業施設）
- ◆内容 自動運転（レベル3）で往復。
買い物・飲食など、実用化後の利用実態に近い実験を実施。
子育て世帯親子・高齢者夫婦・相乗りなど様々な属性の20名のモニター乗車。



先導的モビリティに関する取組

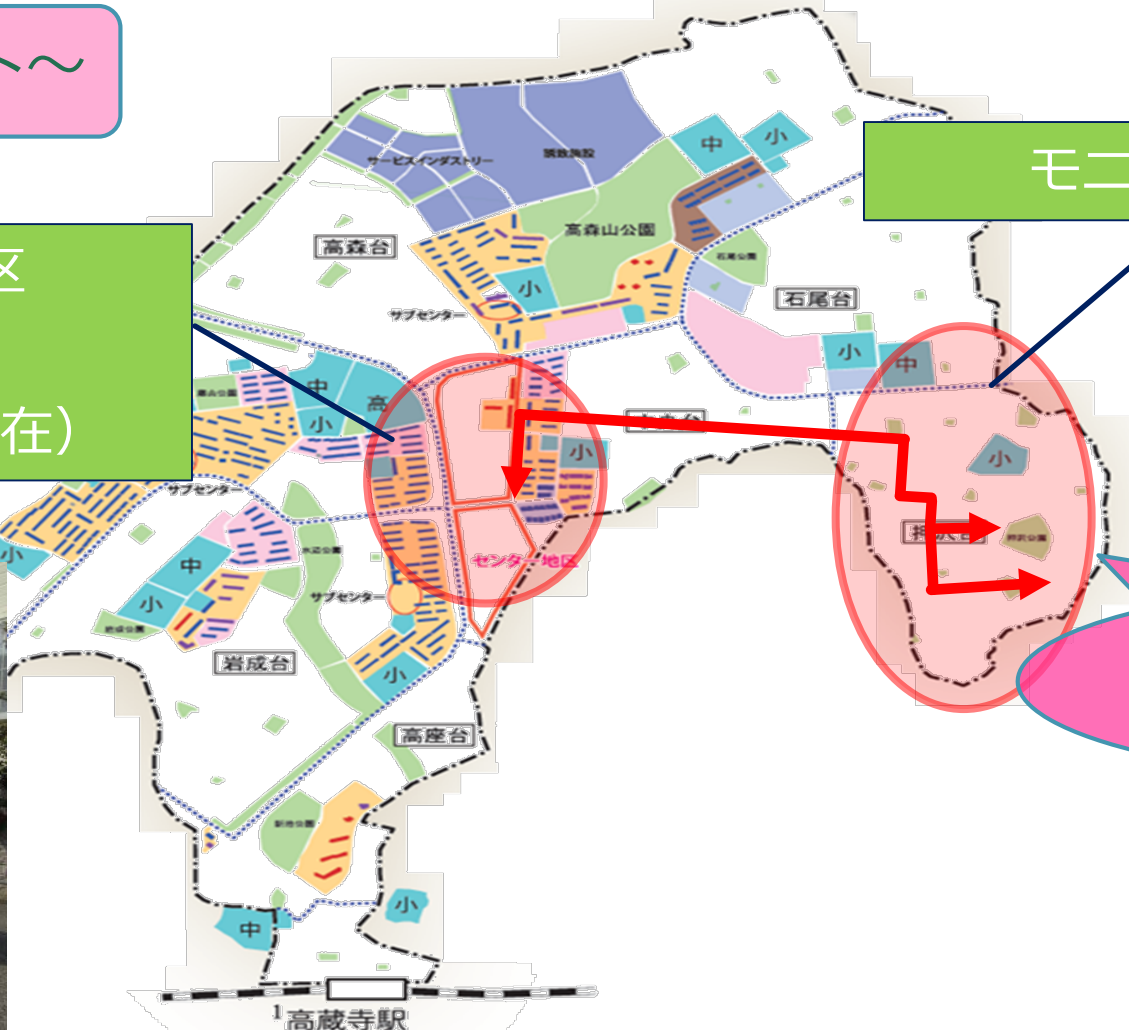
③自動運転デマンド交通実証実験 (平成30年2月24日)

～実証実験ルート～

センター地区
(商業施設)
(1時間程度滞在)

モニター自宅

約2 kmの距離を
自動走行レベル3で往復



先導的モビリティに関する取組

③自動運転デマンド交通実証実験 (平成30年2月24日)

～実証実験の結果～

- ◆参加者 9組 (18名)
子育て世代親子、乗合乗車など異なる属性が試乗
- ◆総論
 - ・自動運転車の受容性や地域ニーズは高い。
 - ・高齢者が外出する移動手段として期待する声多い。
 - ・子育て世代にとっても、住みよい環境の創造や外出促進につながる。



先導的モビリティに関する取組

④名古屋大学COIゆっくり自動運転(R)実証実験 (平成30年3月5日)

～実証実験の概要～

- ◆日時 平成30年3月5日
- ◆場所 石尾台ナフコ (スーパーマーケット・バス停隣接) ～老人憩いの家
- ◆内容 自動運転 (レベル3) の実証実験。自宅からスーパーマーケットやバス停までのラストワンマイルの移動を想定した実験。

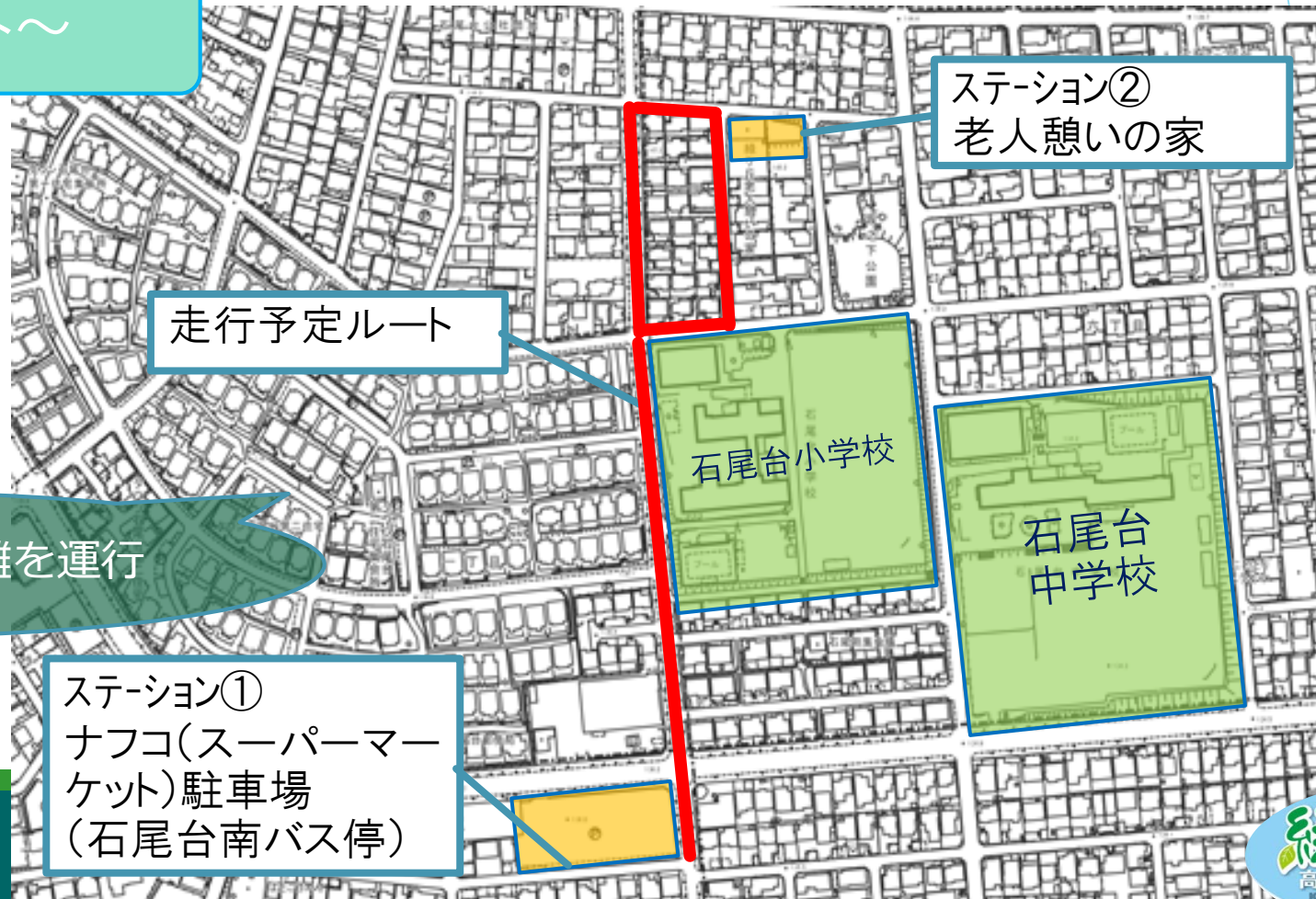


【参考写真 ゴルフカート改造車両 (名古屋大学保有)】

先導的モビリティに関する取組

④名古屋大学COIゆっくり自動運転(R)実証実験 (平成30年3月5日)

～実証実験ルート～



約0.5 kmの距離を運行

先導的モビリティに関する取組

④名古屋大学COIゆっくり自動運転(R)実証実験 (平成30年3月5日)

～実証実験の結果～

- ◆参加者 地元アンケート参加者35名
※試乗は関係者のみ
- ◆車両
 - ・電磁誘導線によらないゴルフカートの自動運転は全国初。
 - ・走行スピードは、時速約13 km/h。雨天でも問題なく走行。
- ◆総論
 - ・高齢者から実用化を期待する声多い。
 - ・今後も技術開発を進め、早期の実用化を目指す。(名大)

『高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議』

①歩行支援モビリティサービス実証実験 (平成29年11月)

②警察庁新が「ドローン」遠隔型自動運転実証実験 (平成30年2月5日)

③自動走行デマンド交通実証実験 (平成30年2月24日)

④名古屋大学COIによる自動走行実証実験 (平成30年3月5日)

+ 既存のモビリティ運行者 (バス・タクシー事業者)

各種モビリティに関するプロジェクト外を
まとめる、検討する組織として

『高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議』の設立

(第1回会議 平成29年10月30日 第2回会議 平成30年3月16日) ※会議は非公開

『高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議』

～今後の展開～

- ★ 自動運転車両、パーソナルモビリティの適切な交通分担の検討
- ★ 調査検討を踏まえた実証実験の実施
- ★ 各事業者の適切な役割分担、先導的モビの担い手の検討
- ★ 技術革新、適切な利用料金を踏まえた事業化の検討
- ★ 交通ネットワーク、交通結節機能強化の検討

高蔵寺ニュータウンにおける各種モビリティサービスの早期の社会実装を目指す

平成30年度先導的モビリティに関する取組

名古屋大学COI正式参画、共同研究契約締結

★名古屋大学と更なる連携強化、プロジェクトの推進



春日井市
kasugai City



モビリティサービス実証実験及びシステム設計

★配車アプリを活用した「相乗りタクシー」「ボランティア輸送」実証実験

★ラストマイル自動運転車両と配車アプリの連動実証実験

★モビリティサービスにおける需要分析及びシステム設計

⇒高蔵寺ニュータウンにおける各種モビリティサービスの早期の社会実装を目指す

3者連携 春日井市×名古屋大学×厚生労働省東海北陸厚生局

★3者連携によるモビリティサービスの推進強化（10/26記者会見）

平成30年度先導的モビリティに関する取組



平成30年度先導的モビリティに関する取組

相乗りタクシー、ボランティア輸送利用手順

モニター登録

モビリティブレンド専用サイトにアクセスして、必要情報を入力してモニター登録
(スマートフォン等をお持ちでない方は、実証実験事務局に電話をして登録)

登録時に、実証実験期間中相乗りタクシーやボランティア輸送で使用できる2,000円/人のポイント※を付与します。

配車登録

専用サイトにログインして、乗車希望日時や乗車人数、出発地、目的地などを入力
(スマートフォン等をお持ちでない方は、実証実験事務局に電話をして配車予約)

- 相乗りタクシー
- ボランティア輸送
- 通常タクシー

希望するサービスを選択
(複数選択可能)

※相乗りタクシー、ボランティア輸送がマッチングしない場合に通常タクシーの利用を希望するもの

マッチング成立

指定した場所に配車

マッチング不成立

他の移動手段を確保

『春日井市近未来技術地域実装協議会』

内閣府「近未来技術等社会実装事業」の事業選定

- ・近未来技術等を活用した地方創生に関する提案を募集し優れた事業を関係府省庁が総合的に支援。
- ・春日井市「高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業」を含む14事業が選定。

「高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業」

自動運転車両、パーソナルモビリティなど、新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックス（モビリティ・ブレンド）を模索し、地域の特性に応じた適切なモビリティサービスの社会実装を実現することで、ニュータウン型MaaS（Mobility as a Service「移動のサービス化」）の構築による、先進技術による快適なまち『高蔵寺ニューモビリティタウン』を目指すもの

高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議

10/26 第1回実装協議会開催（全国初開催）

各省庁の
参画により発展

『春日井市近未来技術地域実装協議会』

『春日井市近未来技術地域実装協議会』

春日井市近未来技術地域実装協議会

春日井市（事務局：ニュータウン創生課事務局）

名古屋大学未来社会創造機構（座長：森川教授）

トヨタ自動車(株)

アイサンテクノロジー(株)

名鉄バス(株)

春日井市内タクシー組合

愛知県

高蔵寺まちづくり(株)

国土交通省都市局（オブザーバー）

国土交通省中部地方整備局（現地支援責任者）

国土交通省中部運輸局

経済産業省中部経済産業局

総務省東海総合通信局

厚生労働省東海北陸厚生局

警察庁交通局

文部科学省科学技術・学術政策局

相互連携によるニューモビリティタウン構想の推進

まとめ

先導的モビリティを活用したまちづくりを進めることで

- ・ 子育て世代の流出防止、定住促進
 - ・ 高齢者の外出機会の増加
 - ・ 坂道などの地形的ハンディの克服
- などが期待

既存の郊外住宅団地が持つ課題の解決により、

高齢者が気軽に外出できるまちづくり
子育て世代が車に頼らず暮らせる持続可能なまちづくり

を進めてまいります。

御清聴ありがとうございました